

省エネでコスト削減！ 26年10月号

旬な情報をお届けするニュースレター

サンエイ

エコ

エコ

sanei eco×eco

ecology × economy



環境技術で未来を考える

株式会社 サンエイテクノクス

TEL

052-741-2603

FAX

052-733-9515

〒464-0851 名古屋市千種区今池南13番15号

<http://www.sanei-info.co.jp> 担当：町野

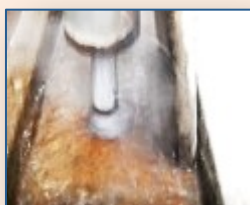
《 過去のニュースレターを上記HPでも紹介しています。今すぐ、サンエイテクノクスで検索！！ 》

既存のドレントラップの交換だけで ボイラーの省エネ！

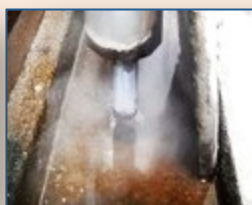
実は・・・従来のドレントラップでは
確実にエネルギーロスをしています！

従来のドレントラップでは・・・

＜ドレンの排出とともに蒸気も排出されている・・・＞



大量ドレン排出



フラッシュ蒸気ドレン排出

■ドレントラップは、本来ドレンのみを排出しなければいけないのですが、
トラップの構造や磨耗、損傷により、蒸気も排出してしまっています。

■蒸気の漏れはボイラーの燃料コストの浪費につながり、無駄にコストをかけてしまいます。

＜さらに、磨耗・損傷が起き頻繁に交換している・・・＞



■可動部があるためウォーターハンマーなどが起こり、
磨耗・損傷によりドレントラップの交換コストがかかります。

■トラップの目詰まりが起こり、クリーニングの手間がかかります。

■メンテナンスコストや交換コストなど、手間やコストがかかります。

裏面では既存のドレントラップを変えて
省エネかつ交換コストを削減を実現する事例を紹介！

裏面へ
GO！

既存のドレントラップを交換して、 省エネと交換コスト削減を実現！

※従来のドレントラップと違い、蒸気を漏らしません！
また、ドレントラップを頻繁に交換する必要がありません！

従来のドレントラップに代わる最新技術 “省エネトラップ”



通常のスチームトラップを使用する場合、ドレンと一緒に多くの蒸気が漏れてしまうといった現象が起こる。これは燃料を無駄に捨てていることと一緒である。本ドレントラップは、トラップ内のノズルの小さな孔より、ドレンのみを連続して排出することができる。（ドレンにより蒸気が漏れないようにシールドする。）

これにより、従来の無駄な蒸気の排出を抑制できる。

また、可動部が無いため、故障しづらく、長期利用しても性能変化が起こりにくい。

さらに、ウォーターハンマーやロッキングなども起こさない構造となっているため、トラップ交換コストの削減にも貢献する。

<某リネン工場N社の導入事例>

4分の1のドレントラップを交換し、燃料費17%削減を実現！



Before



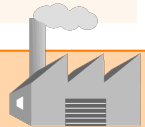
after

ドレンの排出とともに蒸気が排出され、その分無駄に燃料コストがかかっていた。また、ドレン排出時のトラップの可動部によるウォーターハンマーで、可動部分の磨耗や損傷が起こり、頻繁にトラップを交換していた。

ドレン排出量が多かった箇所（全体の4分の1）のトラップをエネトラップに交換。燃料コスト17%削減を実現し、蒸気のムラが減少し、温度管理が簡単になった。トラップの交換頻度も今後期待していきたい。

“省エネドレントラップ”の導入先

フィルム製造工場、製鉄工場、麺・つゆ製造工場、タイヤ製造工場、製糖工場、染色工場、乳製品製造工場、リネン工場等



《お客様お問い合わせ記入欄》

そのままFAXしてください！ ※10/31迄にお問い合わせを！！

会社名

名前

TEL

()

□ コメント欄

■■■お客様お問い合わせ先■■■

今回の記事内容に関して、ご質問・ご不明な点があれば、上記にご記入の上、FAXして頂くか、TELにてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ：株式会社サンエテクノクス TEL:052-741-2603 FAX:052-733-9515 担当:町野

編集後記

自転車のタイヤは、前輪よりも後輪の方がはやく磨耗することをご存知ですか？磨耗により後輪タイヤの取り替えが必要となる前に、前輪と後輪を交換すると自転車あたりのタイヤ寿命を延ばすことが出来るそうです。また、タイヤに直射日光が当たると劣化が早まりますので、注意が必要です。

(渡辺)

